



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)  
2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ  
「ロータリーは機会の扉を開く」  
(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

# WEEKLY BULLETIN OSAKA NAMBA

## 大阪難波ロータリークラブ週報

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
4月15日 (木) 休会の為、ありません	4月22日 (木) 休会の為、ありません	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

4月15日(木)は例会の予定でしたが  
大阪市にまん延防止等重点措置が  
適用されたため  
本日は休会といたします。

### ♪ それでこそロータリー

どこで会っても やあとのおうよ  
見つけた時にや おいと呼ぼうよ  
遠い時には 手を振り合おうよ  
それでこそ ローロー ロータリー

ニコニコ箱報告		
前回の合計	¥0 (休会)	
本日までの累計	¥2,056,500 (61%達成)	
4月末の予算額	¥3,330,000	

  

出席報告		
前回	4月8日(休会)	3週前 3月18日
会員総数	60名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率 70.00%
出席会員数	名	
出席率	%	

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30  
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間  
会長: 川口栄計 幹事: 福田 忠 会報・雑誌委員長: 三島敏宏 事務局: 安部亜希子  
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階  
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

## 4月 結婚記念日 おめでとうございます

- 4月3日 黒川友二会員ご夫妻
- 4月20日 北橋茂登志会員ご夫妻
- 4月25日 松田禎胤会員ご夫妻
- 4月12日 大地庸元会員ご夫妻
- 4月23日 井上満昭会員ご夫妻



大阪府交通対策協議会より春の交通安全運動ポスターが届きました。交通安全運動期間は4月6日～15日です。

台湾東部・花蓮県での特急列車脱線事故に関するお見舞い文をお送りしたところ、台中西南RCより会員全員が無事であるとお手紙が届きました。

台中西南扶輪社 403 台中市西區金山路 18-3 號 1 樓  
E-mail: swrc@ms61.hinet.net  
DISTRICT 3462 ROTARY CLUB OF TACHUNG SOUTHWEST TEL: 886-4-23722506 FAX: 886-4-23720242  
2021. 4. 6

日本大阪難波ロータリークラブ  
会長 川口栄計  
幹事 福田 忠  
国際奉仕委員長 森田 納  
国際交流三姉妹委員長 松田禎胤

台中西南R.C  
社 長 鄭晉文 Wine  
秘 書 李國龍 Anson  
国際服務主委 李秀雄 Host

前略:  
貴社 2021. 04. 05 來函敬悉、感謝 川口會長及全體會員給與我們的溫馨關懷、  
敝社社友及眷屬一切平安、貴社溫情台中西南扶輪社銘記在心、再次衷心感謝。  
在此、祝福 貴社會長及全體會員及眷屬身體健康、平安快樂!

### 山田誠一 会員



戦前の昭和二十七年、大阪生まれの大阪育ちの七十九歳になります。会社は、同じく戦前からお菓子を全国に卸している元卸問屋を営んでいます。スーパーなどの一般的な卸もしています。が、特殊ルートに強い問屋をしています。例えば、梨園や苺農家さんが作業後の休憩に、糖分や水分補給をするためのお菓子やパンを提供している農協さんや、一度出航したら長期間帰港できない漁師さん(日持ちのする菓子やパン)を提供する漁協の販売先ルートや、桃の節句のひなあられや端午の節句のかしわ餅など季節性の高いお菓子、割れてしまったせんべい、あられなどの専門性や商品特性が偏向している商品を扱う仕入先ルートを持って商売しています。また、お菓子は地域性が強く、その地域では有名でも他エリアでは手に入らないものが多いです。例えば、九州出身の工具さんが多い愛知県の工場で九州名産のお菓子を卸したりしています。

会社の特長としては、仕入販売ルートが特殊である事もありますが、それ以上に長年の情報量がありまじと。私たちがだけでなくお客様と仕入先様の共存共栄



Vol. 50

「テーマ 人生の楽しみ」

## 世代を紡ぐ インタビュー

の信念をもつ、前出の農協さんや漁連さんなどへ、自ら企画から携わって、仕入先から販売先まで商流を提案してきました。中には業務外の製造工場への機械整備情報提供してきました。全国津々浦々に販路を伸ばす中で、各々の情報を大阪で一括管理を行い全国各地で活用できるようにマーケティングしてきました。この様に市場作りをしようと菓子だけではなく、おもちや花火なども取り扱う様になりました。戦前からの知識と経験と長年にわたる様々な情報を基にした取引実績から同じ業種の業者さんが少なく、お陰様で時代に左右されな業態を作ることができました。

私自身、仕事は朝の5時から職場へ出勤し、月、盆もたず働きました。先ほどの情報のもとで、やればやるほど実績が生まれてやり甲斐を感じました。販売は多岐ですが、経理と情報管理にも力を注ぎました。経営者として経理を握るのが大切だと思い、販売だけでなく経理の一元管理も力を入れました。大変でしたが楽しかったです。しかし、私が60歳の時に会社を息子に譲りました。会長になつてからは会社に出社することを減らして、若い経営者やメンシをしやすいと、結果が思い通りでなくとも良いと思ひ、経営に口を出さな様に心掛けた。六〇歳からは、趣味である旅行を妻と二人で専念しました。六〇代は海外旅行を中心に、七〇代からは国内旅行を行い、これまでに国内外問わず殆どの場所に旅行しました。中でも思い出深いのは、海外ではスイスのミッターホルンでのハイキングと、国内では京都の四季の感じを豊饒です。気候天候にたわむて旅行するお陰で、旅先には絵にならぬ景色を記録してきました。特に京都は同様に朝と夕と表情が変わって美しさを堪能できます。最近では、「コロナの影響で旅行が難しいので、妻とお弁当を持って大阪の公園めぐりをしています。近頃の公園でも様々な発見がありましたので、これからは妻も一緒に行きたくて生業しんていきたいです。

### これからの予定

- 3月25日 (木) ~4月30日 (金) 献血週間
- 4月22日 (木) 例会中止
- 4月29日 (木・祝) 休会
- 5月1日 (土) 春のRYLAオンラインセミナー
- 5月6日 (木) 例会
- 5月13日 (木) 例会・新旧合同理事会

## 4月は「母子の健康月間」です

★来客紹介：ありません。

★会長報告：川口会長

1. 大阪難波ロータリークラブの会員の皆様こんにちは。大阪市がコロナ蔓延防止等重点措置の対象地域となり、クラブ例会が残念ながら今週より休会となりました。予定では状況を見ながらですが、この措置の解除後、例会を再開したいと考えております。それまでは、クラブの連絡事項、地区からの情報等、この「臨時報」を通じ発信させていただきますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。
2. まず、社会奉仕事業の献血数ですが、まいどなんば献血ルームより4名（採血3名）の報告とお礼を頂きました。ご協力いただいた会員の皆様に御礼を申し上げます。
3. 3月のIM4組、会長懇談会から1月19日ガバナー補佐会議の報告がありましたのでお伝えいたします。
  - ①IM4組ロータリーデーの会計報告の確認（東大阪みどりRCさんから提出済と確認）
  - ②ポリオプラス、財団寄付、米山の寄付ゼロクラブは、IM4組は該当なし。
  - ③米山奨学生世話クラブは財団と業務委託契約が必要。（危機管理の考え方が、運用ベースに広く適用されてきた）
  - ④春のRYLAは完全オンラインで実施される。登録料・受講料共に無料。ジャパンハート吉岡代表の講演会のあと、50名の若者が5組に分かれてオンライン討論を行い終了となる。（5月1日（13時～17時半）。配信はサニーストンホテル、ホストは吹田ロータリークラブ）また各クラブの報告と中止となったIM4組ロータリーデーの代替えとなるイベント「希望の扉プロジェクト」の意見交換がなされました。今からでも今年度のテーマ「機会の扉を開く」を実行できるよう企画されました。詳細が決定次第、会員の皆様にご連絡いたします。またガバナー補佐ノミニーの選出方法について討議し、現在の立候補制に加え、IM4組に更なる細分地区を設け、輪番制を取り入れる方針が決定されました。
4. さて本日の「ロータリアンの足跡」は、私ども大阪難波ロータリークラブの親クラブであります大阪南RC第5代会長、早川徳治氏であります。臨時報にて1週遅れの報告ですがご容赦ください。言わずと知れたシャープの創業者であります。多難な人生の上、この大阪の地で再起された御仁であります。大変面白いレポートですので是非ご一読ください。

これにて本日の会長報告を終わります。会員の皆様には、より一層お体をご自愛くださいませ。

★幹事報告：福田幹事

1. 5月13日例会終了後、定例理事会を開催しますので、理事役員の方はご出席下さい。
2. 各委員長の方に今年度の活動報告書の提出をお願いしております。この様な時期ではございますが、5月20日の新旧合同クラブ協議会の資料となりますので、何卒ご提出よろしくお願ひいたします。
3. 会員名簿（緑の手帳）を郵送させていただきます。ご活用ください。

★委員会報告

◇クラブ会報・雑誌委員会：三島委員長

「ロータリーの友4月号の紹介」

横P3 RI会長メッセージ（RI指定記事）

「環境」がロータリーの重点分野に加わり、今年4月22日の「アースデイ(地球の日)」を、私たちは新たな使命を持って迎えることとなります。プラスチックの使用を控えたり、電気を賢く使ったりするだけでも大きな変化を起こすことができますが、加えて環境問題に貢献できる機会が生まれたのです。環境問題について、これまでも各クラブが地域のニーズに合わせて取り組んでいました。気候変動は全ての人に関わってくる問題です。これからも緊密に連携してこの問題に取り組んでいく必要があります。

横P7～13 母子の健康月間特集 日本の母子に出来る事

現在の日本では世界的にもトップレベルで母子の健康が守られています。しかし折角母子共に健康で生まれてきても、その一方でマタニティーハラスメントや産後うつ、ワンオペ育児、DV、児童虐待、若年者の望まない妊娠・中絶・出産も後を立ちません。こうした問題に目を向けた取り組みを紹介します。（箕面RC）妊婦が交通機関などを起用する際に身につけ、周囲に妊婦である事を示しやすくするマタニティーマーク1600個を箕面市に贈呈し、母子手帳を受け取りにきた妊婦に配布を促しました。

（大阪西南RAC）RCとRAC合同で、毎年「助産師例会」を行っています。これまでも月経カップや緊急避妊薬など、あまりロータリーで取り上げられない話題について情報発信しています。今年度は子宮頸がんをテーマにしました。

横P27～33 連載コミック ポールハリスとロータリー 第5章 ロータリーの精神(後半)

地域社会でのロータリーの奉仕活動の始まりと

ロータリー精神の紹介。1910年頃米国オハイオ州のトレドRCは、身体障がい者への教育という、全米に起こった問題に着手しました。それは、学校に行っているはずの時間帯に街をブラブラしている身体に障がいをもっている少年との出会いが始まりでした。当時の米英では、やっと公立の学校ができ、子どもたちが貧富の差がなく教育を受けることが出来始めましたが、身体障がい者を受け入れられる施設はありませんでした。そこで、1914-15年度RI会長のフランク・マルホランド氏が、障がいを持っている子どもたちが教育を受けられないのは、その子にとってマイナスだけでなく、良質なエネルギーを社会に還元できないのは社会にとっても大きな損失となることを伝え、「ロータリアンの親睦のエネルギーを、世のため人のために還元しよう」と提言しました。その結果、クラブを挙げて取り組み養護施設をつくり、身体障がい者が無料で教育を受けられるようになりました。10年ほどたったある日、車いすに乗った立派な身なりの青年が、養護学校がいかにも、世の為人の為になっているかをトレドRCで話しました。そして、その事がいかにチャンスを与えているかを伝える事実を皆の前で表しました・・・その事実を理解した会員たちは、ロータリークラブが地域と共にあることを確認しました。

P38 エバンストン便り（RIからのお知らせ）2021年7月1日よりロータリー財団の資金モデルが変更されます。また「環境」が入った7つのロータリー重点分野のロゴが新しくなりました。

P39 逆境を逆手に取る（2021年度国際大会・RI指定記事）

前年度のバーチャル国際大会では、ライブ配信参加者6万人、YouTubeによる8カ国語配信された本会議参加者は7万5000人、分科会は7月まで開催されて、ロータリー財団への寄付は100万ドル近くになりました。以上のようにロータリーは大成功を収めたと同時に、適応力とこれまで以上に多くの会員が参加できる方法を見つけることができました。今年度の国際大会もバーチャル開催と決定しました。ジョン・ヒューゴRI事務総長によると「ポリオなどの予防可能な疾患の根絶活動を率先して行っている団体として、新型コロナの脅威を軽減する責任を私たちは明らかに持っています。」とのことです。

国際大会がWeb開催となり、対面式では参加できない会員にもロータリーはこの変化から機会を作り出します。世界中の仲間と交

流する新しい方法を編み出すために、準備が今進められています。

P39 パートナーシップの力（ロータリー財団管理委員長からのメッセージ・RI指定記事）アメリカ人建築家のダニエル・バーナムは「小さな計画は立てるな」という言葉を残しています。小さな計画には血を湧き立たせるような魔法の力はなく、おそらく実現もできないだろうとのこと。同じくロータリーも、ポリオ撲滅という大きな計画を立てた結果、昨年世界保健機関によりアフリカ地域にポリオフリーの宣言が出されました。また、1年前の新型コロナウイルスの感染とパンデミック対策に関しても、ロータリー財団は、3,270万ドルを超える資金を繰り出しています。そして今、大規模プログラム補助金(2020-21年度から導入された競争性の補助金)を通じて大きな計画を立てます。ロータリーの重点分野の1つ以上に一致するプロジェクトに年間200万ドルを授与する予定です。3～5年かけて成果を測量でき、持続可能な方法で多くの人々の為に問題解決できることが条件です。このプロジェクトに全力で取り組むためにも、機知に富んだ同志とのパートナーシップも必要です。

これまでの例として、ワシントン州フェデラルウェイRCは、ザンビアのRCとマラリア・パートナーズ・ザンビアとパートナーとなり、マラリア対策として60人の保健当局保護員、382人の医療スタッフ、2500人の医療従事者を対象に研修を行い、必要器具を提供して、二つの州の10地区でマラリア罹患率90%低減させることを目指すプロジェクトを行っています。また、他にもパートナーとして協力しており、ザンビア保健省のマラリヤ根絶センターと協力し国家戦略として活動し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団に資金提供を受け、国際NGOのワールドビジョンに人道支援や開発援助を協力してプロジェクトを進めています。

この様な初の大規模プロジェクトは今後のプロジェクトにインスピレーションを与えるでしょう。これはロータリー物語の最新章にすぎません。普通の一般市民が、支援を必要とする人々の為に力を合わせて大きな計画を立てるだけでなく、大胆な行動を起こしていく、という物語です。この胸を打つ物語の作者は、ロータリー財団を支える熱心なロータリー会員である皆様一人一人なのです。

★ニコニコ箱報告：ありません。

★卓話：ありません。